



白根市公共交通の「将来指針」を策定

白根市公共交通活性化構想

近年、自家用車の普及によりバス利用者が減少し、白根市を取り巻く路線バスの状況は厳しさを増しています。路線バスを中心とする白根市の公共交通を活性化させるため、15年8月に「白根市公共交通活性化構想」が策定されました。

この構想は、白根市における公共交通の「将来指針」となるもので、構想に基づく施策は、16年度から取り組みを開始します。地域の重要な移動手段である公共交通を確保していくためにも、皆さんと一緒に公共交通について考えていきたいと思ひます。

補助金により 路線バスを維持

十一年四月に、新潟交通の電車線が廃止となり、白根市では路線バスが唯一の公共交通機関となりました。しかし近年は、路線バス利用者の減少が進んでおり、多額の赤字を出しながら運行されているのが実態です。

市では以前から、路線バスの赤字に対して県や関係市町村と協調。バス事業者に補助を行いながら、路線バスの維持を図ってきました。(表)

表 路線バスに対する市の運行補助額 (平成14年度)

| 路線 | 系統数 | 補助金(万円) |
|------------------|-----|---------|
| 巻営業所-六分-加茂営業所 | 1 | 21 |
| 東三条駅前-新飯田車庫 | 3 | 15 |
| 湯東営業所-鷺巻-大郷-大野仲町 | 4 | 162 |
| 湯東営業所-庄瀬-加茂営業所 | 2 | 122 |
| 加茂営業所-五反田-新飯田車庫 | 1 | 22 |
| 湯東営業所-茨曾根-燕駅前 | 1 | 33 |
| 合計 | 12 | 375 |

十四年度の補助金額は、約三七五万円でしたが、十五年度は県の補助制度の変更に伴い、前年度のおよそ四倍となる約一、五〇〇万円以上と見込まれています。

このまま路線バス利用者の減少が続くと、赤字額は一層増加し、市の財政を圧迫することが予想されます。

白根市公共交通 活性化構想を策定

このような状況から、現状の路線バスを中心とした公共交通体系の改善や利便性の向上などを検討するため、十四年十一月に「白根市公共交通活性化市民会議」を設置。これは学識者、関係団体代表、バス事業者、公募による五人の市民委員など、合計二十人で構成されており、市の公共交通の在り方について議論を重ねてきました。十五年八月に開催された、第六回の市民会議で最終案がまとまり、市長に対して「白根市公共交通活性化構想」が提出されました。

構想の位置付け

この構想は、市の「将来指針」としての位置付けであることから、目標年次は設定されていません。しかし存続の危機を迎えている路線バスについては、早急に対応する必要があることから、最優先に取り組みべき施策について、構想の一部に具体的な計画が盛り込まれました。

路線バスの整備方針

この構想の中で、路線バスは「幹線路線」と「支線路線」の二つに区分されています。

「幹線路線」は新潟、新津、三条方面など、移動需要が多いと思われる都市と接続する路線に設定しました。これまでの運行回数を維持、または増便し、J-R在来線や新幹線、高速バスとの接続を向上していくものと提案しています。

次に、幹線路線に比べて需要が少なく、高校生の通学や高齢者の通院などが利用の大部分を占める路線を「支線路線」に設定。ここでは利用状況に応じて、適切な運行回数の整備を図ることとし、高校生の通学に支障の出ない、最低限の便数を確保していくものと提案しています。さらに利用者が著しく少ない路線については、路線の廃止を検討していくことが提案されています。

路線バスを補完する 新たな公共交通

白根市には「路線バスが通っていない地域」や「路線はあるが運行回数が少なく不便な地域」などが存在しています。

構想では、コミュニティバスや乗り合いタクシーなど、路線バスを補完する交通を、それらの地域に需要に応じて導入していく必要があると結論付けました。そこで十六年度か

将来目標

モデル地域を設定し「定時定路線による循環型交通」の実証実験に取り組むべきと提案しています。

公共交通の玄関口としての機能を果たす「総合交通ターミナル」の整備や、自家用車を専用駐車場に停め、目的地までバスを利用する「パーク・アンド・バスライド施設」の整備、さらに路線バスの定時性を向上させるための「バス専用レーン」、「公共車両優先信号機」の整備などを将来目標として掲げています。

路線バスを利用しましょう

路線バスは自家用車に比べ、乗員一人当たりの環境に対する負荷が小さく、環境に優しい乗り物です。また高齢者などの交通弱者にとって、欠くことのできない大切な移動手段でもあります。

このまま公共交通利用者の減少が続けば、バス路線の廃止は避けられない状態になります。そのため市民の皆さんにも、この状況を理解していただき、地域に合った公共交通の在り方について、行政や事業者とともに考えていただきたいと思います。

市では、構想に基づく路線バスの利便性向上策や路線バスを補完する交通の実証実験を十六年度から開始します。皆さんの積極的なご利用を願ひします。

一部路線で運行本数を減便

白根市公共交通活性化構想に基づき、15年12月1日から、利用者が著しく少ない時間帯について、運行本数の減便を実施します。ご利用の際は、十分ご注意ください。

廃止されるバスの時刻

- 庄瀬四ツ角 (午前7時00分発) →白根健生病院前 行き
- 白根健生病院前 (午前8時10分発) →鷺巻→大野仲町 行き
- 大野仲町 (午後1時05分発) →鷺巻→白根横町 行き

| |
|----------------------|
| ① 湯東営業所～白根～バスセンター |
| ② 白根健生病院前～鷺巻・大郷～大野仲町 |
| ③ 白根横町～白井～新津 |
| ④ 白根横町～矢代田～新津 |
| ⑤ 白根小学校前～庄瀬～加茂営業所 |
| ⑥ 巻駅前～六分～加茂営業所 |
| ⑦ 新飯田新町～五反田～加茂営業所 |
| ⑧ 新飯田新町～燕三条駅前～東三条駅前 |
| ⑨ 新飯田新町～労災病院～燕駅前 |
| ⑩ 湯東営業所～茨曾根・月湯～燕駅前 |
| ⑪ 白根健生病院前～漆山～巻駅前 |
| ⑫ 白根健生病院前～熊谷～曾根駅前 |

★運行時刻については、バス事業者にお問い合わせください
新潟交通西(株)湯東営業所 ☎0256・86・3355

ご意見をお寄せください

「白根市公共交通活性化構想」は、市のホームページ等でも公開します。白根市の公共交通に対するご意見などをお気軽にお寄せください。

〒950-1292 白根市大字白根1235
企画財政課総合計画係 ☎373・2111 内323
Eメール kikaku@city.shirone.niigata.jp

